



Title	1 2 1 4メートルの私のこの山
Author(s)	沼田, 朝子
Citation	大阪公衆衛生. 1994, 65, p. 11-12
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83811
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

1214メートル私のこの山

東大阪市東保健所 沼田朝子

ふとしたきっかけで、この山を見つけました。15、6年前の初めての出会いから、これまでこの山とこんなにも長くかかわりをもつとは、思っても見ませんでした。

休暇にどこの山に登ろうかと近畿の山の地図を広げて眺めていました。「武奈ヶ岳1214メートル」小さな文字があったのです。1214メートル、12月14日、私の誕生日と同じ数字が並んでいました。今となっては何も驚くこともありませんが、その時は何か特別のものでも見つけた時のように胸が、わくわくしたのを覚えています。見つけたその年から、次の年も、またその次の年も同じように12月14日にこの山へ登りました。

ある時は雪の中を、そしてまたある時は、

会員の声

降り積もったふんわりとした落葉の上を、ザザッというブナやカエデなどの葉ずれの音を聞きながら歩きました。春に歩けば、また秋の景色が想われ、秋に来れば雪に埋もれた山に登りたくなりました。

そして登るコース、どれをとっても思いがあります。その中でも西南稜からのなだらかな登り、そして稜線に出た時に見える琵琶湖の青さが、たまらなく好きです。

頂上にも地藏様が数多くあり歴史的にも趣があります。

何と自分勝手な思い入れで登り始めた、「武奈ヶ岳」を私の山として今も登り続けています。

今は家族で、スキー、ソリ遊びを楽しみにしながらの山登りになり、12月14日に登ることも出来なくなってしまいました。しかしこれからも年に何回か、この山に登り続けたいと思っています。

そしていつか遠くからこの山を眺めてみたいと思っています。